

目次

1. 教職課程ニュースレター第4号に寄せて
2. 教職フォーラムのご案内
3. 卒業生対象のweb ページ開設
4. 教職課程教育センター運営委員便り
5. 新設の教職課程について
6. 教員採用試験合格状況
7. 卒業生教員の声
8. 平成28年度教員免許状更新講習実施報告
9. 平成28年度教育実習について
10. 教職研究紀要投稿のご案内
11. 卒業生教員ネットワーク登録のお願い

教職課程ニュースレター第4号に寄せて

教職課程教育センター長
西川 信廣

卒業生の皆様に於かれましては益々ご活躍のこととご拝察申し上げます。

この度、京都産業大学教職課程ニュースレター第4号を刊行することができました。このニュースレターの発行を契機として、卒業生の皆様との紙面やメールなどでの交流も進みだしております。これからも紙面の充実に努め、卒業生の皆様と在學生、教職員の交流の輪が広がるように努力いたして参ります。

教職課程教育センターといたしましても、卒業生現職教員諸氏と本学教職員、在學生との交流の活発化をさらに推し進め、京都産業大学を軸とした人と人との絆を強めることに力を注ぎたいと考えております。その一つとして、「教職フォーラム」があります。教育職員免許法施行規則の改正に伴い必修化された「教職実践演習」の一環としての性格もございますが、卒業生現職教員と在學生の交流の場としても位置付けております。卒業生諸氏におかれましては、公私とも何かとご多忙とは存じますが、都合の許す限りご参加いただければ嬉しく存じます。（詳細は右欄をご参照ください。）

今年の5月28日(土)、29日(日)の両日にわたり、京都産業大学、佛教大学、京都精華大学の3大学が担当校として運営にあたり、京都市勧業館みやこめっせをメイン会場とし、全国私立大学教職課程研究連絡協議会定期総会・研究大会を開催いたしました。全国から延べ2,000名の方にご参加いただき、大成功を収めることができました。これもひとえに卒業生の皆様のご支援の賜物と、関係者一同衷心より御礼申し上げます。加えて、今後とも一層のご支援ご協力をお願いいたしまして、ご挨拶いたします。



教職フォーラムのご案内

～在學生と卒業生の懇談会開催～

教職課程教育センターでは、学校教育の現状をテーマに「教職フォーラム」を以下の通り実施いたします。また、今回は講演および卒業生からの報告に加え、全国で教員として活躍しておられる卒業生の皆様と在學生の少人数制の懇談会を開催いたします。ぜひご参加いただき、皆様のご経験や学校現場の状況等を在學生にお話いただきますよう、お願い申し上げます。

◆日時：平成28年10月29日(土) 13:30～16:30

◆場所：本学5号館3階5303教室

◆開催規模：約400名

◆内容：

(1)講演 テーマ「養父市の教育改革(仮)」

(講演者：足立 篤史/養父市教育委員会教育長)

(2)卒業生からの学校現場の状況報告

(報告者：吉田 壽史/京都市立下京中学校 教諭)

(3)懇談会(現職教員の卒業生と在學生を少グループに分け懇談会を実施)

◆申込方法

必要事項をご記入いただき、**10月6日(木)まで**に次のメールアドレスまでお申し込みください。



※昨年度の実施風景

▽必要事項：①ご氏名 ②卒業学部 ③ご勤務先・担当校種・教科 ④お電話番号 ⑤メールアドレス

▽メールアドレス：kyoushoku-center@star.kyoto-su.ac.jp

卒業生対象のwebページ開設

以下のとおり教育分野で活躍されている卒業生の皆様対象のweb ページを開設いたしましたのでお知らせいたします。今後はweb 上から本学教職課程に関する情報を発信していきますので、ぜひともご活用くださいますよう、お願い申し上げます。

web ページアドレス：

<http://www.kyoto-su.ac.jp/faculty/kyoshoku/index.html>

(主な内容)

- ・イベント情報
- ・教職に関する証明書の申請方法
- ・教員免許状更新講習の受講案内
- ・教職研究紀要の投稿案内 等

教職課程教育センター運営委員便り

理学部

牛瀧 文宏 教授

皆さんこんにちは。今年度教職課程教育センター運営委員を拝命している牛瀧文宏と申します。皆様方の日々の実践に敬意を表するとともに、平素の本学教職課程へのご協力に感謝いたします。



質の高い教員を養成することは、我々に課せられた1つの使命であると認識し、私の属する理学部数理科学科では、平成26年度入学生から「数学教育コース」を発足させました。理学と教育課程への確かな理解に基づき、生徒目線の支援ができる教員を輩出する一助となればと思っております。

実はこのコースの授業には、私が現職の先生方に対して実施した様々な支援（主に授業への助言や研修会での講演など）の経験が活かされています。授業支援では、小中高の算数・数学を中心に、指導案作りの段階から関

わらせていただいています。講演としては、アクティブラーニングに基づく授業づくりや小中一貫教育についてのご依頼が多いです。そんな中、招かれた学校や研修会で本学を卒業された先生方にお会いすることもあります。お話をお聞きするたびに、先生方のご活躍に敬服し、子どもたちを思いやるお気持ちに胸を熱くすることもしばしばです。なお、小中一貫教育については、昨年の本学の西川信廣教授と共著でナカニシヤ出版から「学校と教師を変える小中一貫教育～教育政策と授業論の観点から～」という書物も出版させていただきました。ご一読賜りましたら幸いに存じます。

今後とも、皆様方からの情報をお待ちしております。また、児童・生徒対象の出前授業はもちろんのこと、授業の助言指導や各種教員研修へ講師として本学教員が向することも可能ですので、ご活用ください。最後になりましたが、皆様方の益々のご健勝とご活躍を願っております。

新設の教職課程について

現在の本学の教職課程の設置状況は右欄のとおりです。平成28年度入学生より、平成27年度開設の文化学部京都文化学科および平成28年度に新設された理学部宇宙物理・気象学科に新たに教職課程が認定されました。

また、平成29年度に新設される現代社会学部については、現代社会学科に中学校教諭一種免（社会）、高等学校教諭一種免（公民）、健康スポーツ社会学科に中学校教諭一種免（保健体育）、高等学校教諭一種免（保健体育）の教職課程認定申請（※注1）を行っています。

注1：平成29年4月教職課程認定（申請中：ただし、文部科学省における審査の結果、予定している教職課程の開設時期が変更となる可能性があります。）



注2：ドイツ語・フランス語・中国語の免許状については、各言語を専攻している場合に限り取得可能です。

【本学で取得できる免許状の種類・教科】

学部	学科	中学校教諭一種免	高等学校教諭一種免
経済	経済	社会	地理歴史・公民・商業
経営	経営	社会	地理歴史・公民・商業
	ソーシャル・マネジメント	社会	地理歴史・公民
	会計ファイナンス	社会	公民・商業
法	法律	社会	地理歴史・公民
	法政策	社会	地理歴史・公民
現代社会(注1)	現代社会	社会	公民
	健康スポーツ社会	保健体育	保健体育
外国語(注2)	英語	英語	英語
	ヨーロッパ言語	英語・ドイツ語・フランス語	英語・ドイツ語・フランス語
	アジア言語	英語・中国語	英語・中国語
	国際関係	英語	英語
文化	京都文化	社会	地理歴史
	国際文化	英語	英語
理	数理科	数学	数学・情報
	物理科	数学・理科	数学・理科
	宇宙物理・気象	理科	理科
コンピュータ理工	コンピュータサイエンス	—	情報
	ネットワークメディア	—	情報
	インテリジェントシステム	—	情報
総合生命科	生命システム	理科	理科
	生命資源環境	理科	理科
	動物生命医科	理科	理科

教員採用試験合格状況

過去3年間の教員採用試験合格状況は次のとおりです。

年度		2013(平成25)	2014(平成26)	2015(平成27)
既卒	公立学校正規教員	44	34	30
	公立学校正規教員 ()は公立学校受験者数	6 (54)	6 (58)	6 (51)
現役	公立学校期限付き教員	15	18	22
	私立学校教員(常勤)	2	4	8
	合計	67	62	66

※現役生には科目等履修生・大学院生を含む



卒業生教員の声



加茂市立葵中学校
山川 雅己 先生

「大学の卒業式はいつですか。」
「今日です。終わるところより、始まる場所が大事だと思って参りました。」私が大学の卒業式を欠席し、所属校長との面識会に出向いた

のは昭和56年3月17日でした。目指した教員になることができたという喜びと、見知らぬ土地への赴任という大きな不安を抱きながらの面識会でした。

「人間至る所に青山あり」とはよく言ったもので、この面識会から35年の歳月が過ぎて、教職もあと2年弱となりました。今現在、校長という立場で学校経営を進めています。

日本一長い川「信濃川」がつくり上げた越後平野の田園地帯にある中学校が最初の赴任校でした。とにかくがむしゃらに教科（社会科）の指導、学級経営の研修、部活動（野球）の指導に励みました。教育学部出身の他の教員には指導方法などで一歩も二歩も後れをとっているように感じ、彼らには負けてはいられないという意識がありました。

「先生、いい学校だね。」「先生がいてくれて心強いよ。」校長となった今では、教え子がこの学校の親となって子供を入学させてくれています。それが、心の大きな支えになっています。教師としてのやりがいはそのときそのときに感じるものもありましたが、今では立派に成長した教え子の頼もしい姿から感じるの方が大きく、やっつけてよかったなという思いを強くしてくれています。

これから教職を目指そうとしている後輩の皆さん、教職は息の長い仕事です。すぐに結果が返ってくることはありません。でも返ってくる結果は人生を本当に豊にしてくれます。それだけ魅力のある仕事です。そのために、学業だけでなく、経験知を多くして豊かな学生生活を送っていただきたいと思います。もちろん教員採用試験の勉強は怠らないでください。



神戸市立井吹台中学校
岡棟 康太 先生



平成28年3月に経済学部経済学科を卒業し、4月から教師となりました。現在1年生の担任で社会を担当しています。部活は女子バレー部を指導しています。未経験の競技ということもあり、はじめは手探りの

状態でしたが、日々の活動の中で生徒が少しずつ成長していく姿に教師としてのやりがいを感じています。夢であった教師生活は毎日が新しいことの連続です。予想もしないことが起こることもあります。初めは戸惑うことも多かったですが、毎日の生徒との関わりから、忙しさを忘れる楽しさを感じています。

在学生の皆さんには大学生のうちに様々な経験をし、人間的な魅力を身に付けてほしいと思います。遊び、勉強、部活動そのすべてが教師になった時の財産となります。大学生の今だからこそ、できることに全力で取り組み、人としての魅力の幅を広げ、生徒が「この先生はすごい」と思えるような知識、教養をつけてほしいと願います。「進みつつある教師のみ、人を教える権利あり」という言葉があるように、教師を目指す皆さんにも向上心を忘れずに頑張してほしいと思います。

教師という仕事は辛いことや大変なこともたくさんありますが、それに負けないだけの喜びや楽しさがあります。子供たちの青春を近くで見られるのは本当に幸せです。在学生の皆さんが教師という尊い職業に就かれることを願っています。目標に向かって頑張ってください。

平成28年度教員免許状更新講習実施報告

教職課程認定を受けている大学としての社会的責任を果たすため、教育と研究の蓄積を活かした教員免許状更新講習を右欄のとおり実施いたしました。

ご参加いただいた方におかれましては、校務ご多忙かつ猛暑の中、ご足労いただきありがとうございます。

(開講講座一覧)

講座名	開講日	参加人数
道徳教育	平成28年8月7日(日)	15
英語の授業力ブラッシュアップー英語で学ぶ英文法とICTを使った英語学習ー	平成28年8月8日(月)	11
社会学のエッセンス	平成28年8月9日(火)	4
数学の論理とその応用	平成28年8月9日(火)	6
	計	36

平成 28 年度教育実習について

法学部法政策学科

坂口 都

私は、母校で3週間の教育実習をさせていただきました。授業では1年生の社会科、道徳を担当し、部活動では、バドミントン部の指導をさせていただきました。



3週間を振り返ってみて、授業を行うことは想像していた以上に大変で、自分の思う通りに進めることの難しさを痛感しました。最初の1週目は、担当教科の先生の授業を観察しました。先生の授業では、生徒全員が積極的に挙手し、ノートのメモ欄にもたくさん書き込んでいる様子が伺えました。今と昔の比較を行う等、生徒が歴史を身近なものとして捉えることができるような工夫が大切だと感じました。

2週目から授業を担当させていただく中で一番難しいと感じたことは、発問の工夫です。分かりやすい発問を投げかけることがなかなかできませんでした。全ての生徒に充実感を持たせるため、予習プリントからの発問や、一問多答な発問等を使い分けることが大切だと気づきました。そのために、部活動や休み時間において生徒たちと関わる中で、生徒の特徴や興味のあること、得意不得意を知り、生徒

○平成28年度教育実習生数

学部	教育実習生数 (○は昨年度数)
経済	19 (23)
経営	10 (12)
法	15 (19)
外国語	18 (21)
文化	13 (17)
理	45 (37)
コンピュータ理工	2 (0)
総合生命科	9 (13)
合計	131 (142)

※科目等履修生を含む

の情報を事前に把握した上で授業を行いました。最後の授業で、「今日の授業、分かりやすかったよ。」と言ってもらえた時は本当に嬉しかったです。

発行・お問い合わせ先

■発行

京都産業大学 教職課程 News Letter 第4号
発行日：平成28(2016)年9月23日
編集発行：京都産業大学 教職課程教育センター

■お問い合わせ先

京都産業大学 教職課程教育センター
〒603-8555 京都市北区上賀茂本山
TEL：075-705-1479 // FAX:075-705-1448
E-mail：kyoshoku-center@star.kyoto-su.ac.jp



教職研究紀要投稿のご案内

教職課程教育センターでは、毎年度末に「京都産業大学教職研究紀要」を刊行しております。本学を卒業された現職教員または教育機関にお勤めの皆様もご投稿いただくことが可能です。皆様からの積極的なご投稿をお待ちしております。

<投稿要領>

1. 投稿種別 実践記録
2. 原稿量 400字詰め原稿用紙50枚以内
3. 投稿内容
(1)原則として、教職課程における教職および教科に関するもの。
(2)未発表のもの。
(3)図版や統計資料を掲載する場合は、指定の原稿枚数に含めること。
4. 投稿方法
原則としてWord原稿とし、記録媒体(CD-R等)を添えて、平成28年11月11日(金)までに教職課程教育センターまで提出してください。(原稿には、邦文および英文のタイトルと要旨を添付すること。)
5. 特記事項
(1)本論集に掲載された論文等の著作権は、京都産業大学に帰属する。
(2)投稿には個人情報保護法および人権上の問題が生じないよう配慮のこと。

※教職研究紀要のバックナンバーについては、本学の「学術リポジトリ」にて閲覧可能です。

▼<http://ksurep.kyoto-su.ac.jp/dspace/>

卒業生教員ネットワーク登録のお願い

本学は現職教員の卒業生の皆様とのネットワーク作りに着手しております。今後、このネットワークを活用し、本学で開催するイベント・教員免許状更新講習のご案内等、有益な情報発信を行いたいと考えております。

ご登録いただける方は、以下のwebページに添付の「京都産業大学卒業生教員ネットワーク登録書」をご記入のうえ、教職課程教育センターまでメールにてお送りください。

web ページアドレス：

<http://www.kyoto-su.ac.jp/faculty/kyoshoku/sotsugyo.html#netw>

※昨年度までにメールまたははがき等で情報提供いただいた方につきましては、すでに登録をさせていただいております。